

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会 議 名 武義高等学校 学校運営協議会（第3回）

2 開催日時 令和7年2月6日（木） 14:15～16:00

3 開催場所 武義高等学校 大会議室

4 参 加 者

副 会 長	土本 恭正	本校同窓会会頭
委 員	成瀬 孝子	美濃市社会福祉協議会 常務理事事務局長
	小林 亜弓	本校PTA会長
	有川 一	中部学院大学教授（書面）
	辻 晃一	丸重製紙企業組合 理事長（書面）
	佐藤 隆司	PTA 監事（書面）

学 校 側	加藤 信男	校長
	笠井 智子	教頭
	大野 英悟	事務長
	井戸 裕二	教務部長
	吉川 敏幸	進路指導部長、地域連携委員会総括
	各務 憲之	生徒指導部長
	堀内 雅彦	特活指導部長

5 会議の概要（協議事項）

（1）学校長挨拶

（2）議題

- ① 2年普通科 地域探究発表について
- ② スクールミッションについて
- ③ 今年度の成果と課題 各分掌より令和6年度自己評価の報告
- ④ 質疑応答・意見交換

（3）意見交換

2年普通科 地域探究発表について

意見1:美濃の「山車」は「やま」と読む。

生徒たちがこの地域のさまざまな分野に興味をもって諸問題について考えようとしていることが伺える。

スクールミッションについて

意見2:このスクールミッションで問題ない。ただ、「リーダー」というのは育成しないといけない。武義高校の生徒たちの中から地域のリーダーとなっていける人材を見出し育成していったほしい。

意見3:策定の案に賛成である。

意見4:賛成である。

今年度の成果と課題 各分掌より令和6年度自己評価の報告

意見5:将来的に、この地区の公立高校が再編成されると2校減ると言われている。入学志願者が定員を割り込むことがないように、中学生が魅力を感じるような特色ある学校を目指してほしい。今年度、美濃市の花火大会の有料席、防災フェスタで子どもたちを惹きつける等の企画をしたのは武義高生だった。若い高校生の感性は敏感でとても素晴らしいと実感している。

意見6:現在、武義高生が市の未来創造課で活躍し、市内で地域のために学び活動していることを嬉しく思い、また感謝する。武義高生が大人の視点と幼い子どもたちに近い視点と両方を持ち合わせて地域に関わって行動を起こすと、現代の問題を解決していく新たな力になっていく。関市からの援助で企業見学を行ったとの報告があったが、美濃市でも同様のものがあるので利用してもらいたい。

回答 :R7 年度はビジネス情報科が美濃市の力を借りて企業見学をしていく予定である。

意見7:子どもたちの学習について、高校生は学年順位を気にして校内で上位であることに安心してしまう傾向がある。もっと視野を広げて受験や自分の成長のために奮起を促してもらえると、更に伸びる生徒もいるのではないかと感じる。今後の進学・学習に対して高いモチベーションを持てる方策を期待している。

意見8:「高校は県外に進学させることを目標にしているのか」というジレンマがあるかと思うが、岐阜県に戻ってきたいと思える魅力が必要だと考える。

意見9:「やっぱり岐阜がよい。美濃がよい」と愛着が湧くような学校や地域づくりが大切である。皆で試行錯誤をしたい。

(4)会議のまとめ

郡上市と関市に大雪警報が発表されている中、協議委員の皆様には参加いただき、学校への期待に溢れた貴重なご意見をいただくことができた。先を見据え明確な目標をもって学校経営にあたるために、当該分掌にて検討し、次年度の学校経営計画に反映させるとともに、今後も開かれた学校作りに努めたい。